

【施工】

① 清掃

下地表面の木屑や埃を掃除機をかけて丁寧に吸い取ってください。

② 下地確認

下地面の床鳴り、たわみ、目違い、釘の締め忘れが無いかを確認してください。

③ 墨出し・割付

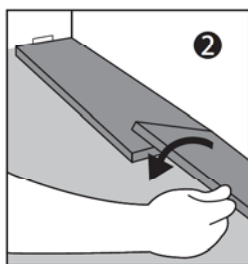
貼り方向と平行に室内の中央に墨出しをしてください。基準墨を出し、それを基に、貼り始めの列と貼り納めの列が同じくらいの中になるように割付しますが、壁際(端部)は1枚の巾が50mm未満とならないように調整してください。

④ 仮並べ

三層フローリングの表面材は無垢材の為、色や木目に個性がありますので、施工前に色合わせをしてください。色味等に極端に不具合がありましたら、施工前に弊社までお申し出ください。

※施工後のお申し出には応じかねますので、ご了承ください。

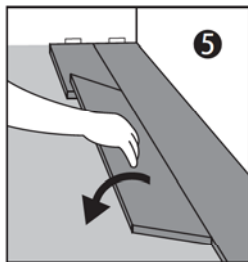
⑤ 施工



① 左側のコーナーから貼り始めます。雄実(おざね)を手前にして壁にあわせまします。短手の壁側には10mmのスペーサーをかませて壁との間にクリアランスを取ってください。

※長手のクリアランスについては3列目の施工後に調整を行いません。

② 2枚目の床板の長手を1枚目と同じように壁に合わせ、手前を持ち上げ、短手の雄実に雌実が重なるように手前に倒し、しっかりとめ込みます。これを繰り返して1列目を完成させます。

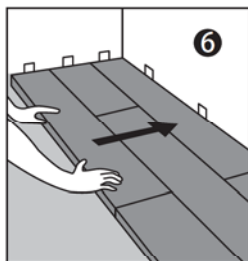


③ 1列目の最後の床板は部屋の長さにあわせてカットします。その際、壁際に10mmのクリアランスを取るのを忘れないようにしてください。

④ 2列目の貼り始めは1列目の最後にカットしたものを使用できますが、400mm以上の長さが必要です。また、1列目と2列目の目地が400mm以上離れるように配置してください。

⑤ 2列目は、長手の手前を上げた状態で実にはめ、短手の実が重なるようにスライドさせて、手前に倒してはめ込みます。

⑥ 3列目を貼り終わった段階で、長手側の壁との間にスペーサーを使用して10mmのクリアランスを取ります。4列目以降は上記を繰り返します。



⑦ 最後の列は場合により、巾をカットする必要があります。その際に壁とのクリアランスを10mm取った状態で、50mm未満の巾にならないように調整してください。

⑧ 配管周りに施工する場合には、管の直径より20mm以上大きい穴を開けるようにカットし、カットした部分をあとからはめ込みます(糊付けはしません)。

⑨ 取り外す際には、実の破損に十分注意してください。まず長手方向の実を手前から持ち上げてはずし、短手をスライドさせるとはずすことができます。短手を持ち上げると実が破損しますのでご注意ください。

〔養生方法〕

- 施工終了後、掃除機をかけて乾いた雑巾やモップで木屑や埃をきれいに拭き取ってください。
- フローリングに直接養生テープを貼らないでください。表面にテープののりが残ったり、木材表面の繊維や塗装が剥がれる恐れがあります。
- 養生中もテープの剥がれが無いかを都度確認してください。隙間から小石やゴミ等が入ると、表面のキズやへこみの原因となります。

